

第26回社会保障学校を開催 井上英夫氏（金沢大学名誉教授）が講演 ～基本的人権の思想を北欧に学ぶ

7月14日に、第26回社会保障学校を和歌山市内で開催し、参加者は52人でした。「基本的人権と社会保障の再生～憲法25条を豊かに」と題して、金沢大学名誉教授で、全国生存権裁判を支援する会代表の井上英夫氏が講演しました。

講師は、人権はまもらなければならないというが、本当に理解されているのだろうかと問いかけ、中学校道徳の教科書には「人権」という言葉がないこと、生活保護を受ける権利は憲法上の基本的人権と理解されていない、年金制度も国は憲法とは無関係だと言っているなどをあげ、憲法25条の「健康で文化的な生活」保障としての基本的人権は日本では認識されていないと指摘されました。



講師は北欧の福祉施設について、北欧では「自己決定権」が障害のある人にも保障され、収容型ではなく、グループホームは独立した一軒家になっていること、自由に活動することをサポートしていることなど、写真を交えて紹介されました。そして、利用者、その家族、職員がすべて笑顔であることが福祉水準の質の高さを表しているという言葉が印象に残りました。

日本では家族が面倒を見るのは当たり前で、「自助」「共助」が押し付けられ、国はほんの手助けするだけだという日本政府の姿勢にあらためて怒りを覚えました。

井上先生は、最後に憲法97条では基本的人権が人類の多年の努力の成果であるとされ、憲法12条では、国民が不断の努力で守らなければならないとしているとし、闘いましょうと結ばれました。

(アンケートより)

- 障害があっても小さくならず、人権としての保障を自覚し、正々堂々と生きていけばいいんだということがわかりました。本人はもとより、家族も含めて！
- 憲法をもっと知ろうと思います。小さいことはいいことだ・・・私もそう思っています。少子化もありますが保育所もこども園とか合併されたり地域も変わってきています。まとめることがいいこととは思えません。ひとりひとりその人らしい人生が送れる社会になったらいいと思います。
- 津久井やまゆり園のことは気になっていたのですが、どうとらえたらいいのか整理できてよかったです。人権について考えていきたいです。
- 大変勉強になりました。井上先生のお話をもっと聞きたい。

【西日本豪雨災害救援募金】

主催者あいさつで、西日本豪雨災害の救援募金を呼びかけさせていただいたところ、おふたりから募金をお寄せ頂きました。ありがとうございました。